

令和3年度 金谷中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-5

	実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者が住みなれた地域で安心して生活ができるための体制を整えていきます。	地域の企業や事業所、民生委員等と協働し、高齢者の見守り体制を構築する。 ①15ヶ所の事業所への包括広報誌の配布【毎月】 ②金谷地区見守りネットワーク事業所連絡会【年1回】 ③金谷地区民協と包括との情報交換会【南・北 各1回】
			市社協、金谷地区社協等の関係機関と協働し高齢者支援事業について検討を行う。 ①生活支援をつなぐ会【年2回】 ②地区社協、金谷応援隊（外出支援、生活支援サービス）意見交換会【年1回】 ③民生委員とCMとの情報交換会【1回】
			個別課題の解決にむけて会議を開催し会議からみえてきた課題をもとに地域課題を抽出し課題解決に向けて会議を開催する。（コロナが影響した実態についてアンケート実施） ①個別ケア会議【5回】 ②地域ケア会議【4回】 テーマ：コロナ禍のつながりづくり・認知症見守り体制・移動販売の活用等
		地域住民が主体的に介護予防に取り込めるように支援していきます。	いきいきクラブ、地域団体、居場所などで「高齢者あんしん講座」を実施し介護予防の意識を高める 高齢者あんしん講座【43回】 内容：フレイル予防・認知症予防・口腔ケア・コロナ感染予防・熱中症予防・消費者被害・脳トレ等 金谷地区しまトレ、居場所への継続支援やコロナで休止している団体に対し再開をよびかけていくとともに新しい地域活動の担い手と連携を図り高齢者が集える新しい場作りを支援する ①28ヶ所のしまトレ支援としまトレ再開支援 ②しまトレ新規立ち上げ【北五和・釜谷地区】 ③地域団体連絡会【年1回】
認知症施策の推進	認知症になっても住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせる地域づくりを目指します。	認知症サポーターを増やし地域での理解を深められるようにするとともに専門職と連携をとり認知症患者と介護者が相談、交流する場を作る ①認知症サポーター養成講座【3回】 ②チームオレンジ茶つきり連絡会【2回】 ③認知症カフェの新規立ち上げ	
		福祉教育を通して高齢者への理解と支援の必要性を若い世代に伝えていく ①小中高生を対象とした認知症サポーター養成講座開催【年2回】 ②金谷高校、放課後児童クラブ等にポスター依頼し、地区内公民館に掲示	
選択項目	多職種、他機関とのネットワーク構築	多職種、関係機関と連携をとりチームになって高齢者の支援をしていきます。 医療、介護従事者、関係機関と情報共有をし課題解決を行う。 ①金谷地区ケアカフェの開催【年4回】	
		医療機関と連携をし、地域住民が終末期について自己決定できる勉強会をする機会をつくる。 ①リビングウィル講話 ②もしものあんしんノート啓発	
	介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	自立支援にむけたケアマネジメントや介護保険以外の地域資源を適切に使い介護サービスからの卒業を目指します。（わたしのプラン活用） 地区ケアマネや地域活動関係者、介護事業所関係機関と連携を図り、適切に高齢者支援ができるように支援する。 ①金谷・川根地区ケアマネジャー連絡会【年3回】 ②ケアマネジャーの地域活動参加の促しと同行 ③金谷地域資源冊子改訂版作成と居宅への配布	
家族介護者の介護負担軽減等の支援と離職防止にむけた取り組み	仕事と両立している介護者も離職することなく在宅で安心して介護ができるように支援していきます。 これから介護していく若い世代に介護知識を学ぶ機会を作るとともに介護者の負担を軽減し介護離職防止を図る。 ①金谷地区介護者のつどい「いっぶく処」の支援【月1回】 ②はじめての介護講座【年1回】 ③「介護保険を知ろう」テーマに企業向けに勉強会開催【年1回】		